

課題に積極的に取り組み
県政の活性化を目指します

長崎県知事
中村法道



その他の取り組みについて
教えてください

について、市町や関係団体など力を合わせて取り組んでまいります。誘致を進めているIRですが、この誘致が実現いたしますと、国内外からの新たな人の流れが生まれ、地域経済への波及や新たな雇用の創出などが見込まれます。本県のみならず、九州全体の活性化にも寄与し、ひいては、訪日外国人観光客の飛躍的増加という政府の目標達成にも貢献できるものと考えております。今年、IR事業者の公募・選定など、区域認定申請に向けた取り組みをさらに加速させてまいります。

県民の皆さんへメッセージを
お願いします

今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。本県では現在、関係市町と共同でベトナム、ラオス、フィリピン、スペイン、ポルトガルの5カ国からの事前キャンプの受入準備を進めております。また、5月にはオリンピック聖火リレーが実施されます。聖火リレーは、本県の多様な歴史・文化や観光の魅力を広く国内外へ発信する絶好の機会となると考えております。多くの県民の皆様にご参加いただきながら、大いに盛り上げていきたいと考えています。

県政にはさまざまな課題が山積しておりますが、県民の皆様方のお力添えをいただきながら、一つ一つの課題の克服に向けて全力を注ぎ、県政の活性化を目指してまいります。

この一年が、皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

新鳥栖〜武雄温泉間については、与党の「九州新幹線(西九州ルート)検討委員会」が示した「基本方針」の中で、フル規格による整備が適当とされ、また、国土交通省、佐賀県、長崎県、JR九州の間で協議を進めることとなりました。県としては、関係者との協議に積極的に参加するなど議論の進展に努め、早期に全線フル規格による整備が実現できるよう引き続き努力してまいります。と考えております。

「長崎県総合計画」の仕上げの年を迎えるに当たり、
県政のかじ取りを行っている中村知事に、今の思いを聞きました。

2019年、印象に残った
出来事は？

「台風第19号による豪雨災害」をはじめ、県内でも大雨特別警報が2度発表されるなど、全国的に多くの災害が発生した一年でした。被災された皆様にも、一日も早い復興をお祈りします。県民の皆様には、日頃から、防災情報の収集や避難場所の確認などの備えを行っていただきますようお願いいたします。

10月5日、ミライオン図書館が開館し、2カ月で来館者は12万人を超えました。今後も、資料の充実はもちろんのこと、講演会やセミナーといった多彩なイベントの開催など、質の高いサービスを提供してまいりますので、さらに多くの方にご来館いただきたいと思います。

秋には、中国の福建省と北京市を訪問し、福建省では、これまでの交流を評価いただき、「榮譽公民」の称号をいただきました。これは県民の皆様方全体

に贈られたものと考えております。北京市では、習近平国家主席が参加される中、日本の自治体では本県のみが中国建国70周年記念行事へお招きをいただきました。今後とも、中国とのさらなる友好交流を深めてまいります。

11月24日、ローマ教皇フランシスコ台下が来県され、原爆落下中心地で平和のメッセージを発信していただき、被爆者をはじめ県民と意思を共有していただいていることを大変心強く思いました。今後、核兵器廃絶の実現を目指し、教皇のメッセージやご訪問の状況などを世界へ発信してまいります。

2020年の抱負を
教えてください

今年、県の総合計画の最終年度を迎えますので、具体的な成果をお示しできるように全力を尽くしてまいります。最大の課題である人口減少対策ですが、良質な雇用の場の確保と若者の県内定着促進策や移住促進対策、自然減対策としての結婚・出産・子育て支援

主な出来事など

- 1 開館初日から大勢の来館者で賑わったミライオン図書館
- 2 教皇としての来県は1981年の故ヨハネ・パウロ2世以来2度目
- 3 九州地域戦略会議(昨年6月)で九州第一弾のIRとしての応援が決議された
- 4 新幹線開業に向けて整備が進む長崎駅
- 5 東京オリンピックの事前キャンプ受け入れの調印式

